

第 52 回議会報告会 ～テーマ別タウンミーティング～

[建設水道委員会]

開 催 日：令和 7 年 11 月 8 日（土）

場 所：中央公民館 小会議室

参加人数：8 人（内訳：会場参加者 4 人、議員 4 人）

【テーマ】「ミニバス等の市内の公共交通について」

«主な意見・内容»

■ 背景・目的

- ・ 常任委員会で来夏に政策提言を行う予定。建設水道委員会のテーマは「自動運転」。
- ・ 現状のミニバス運行に課題が多いという市民の声があり、実態を把握して改善案に結びつける。

■ 参加市民による現状の利用状況・受け止め

- ・ 車・自転車での移動が中心。雨天時のみバスを使う例がある。
- ・ イエローコースは利用者が多く、混雑もあるとの指摘。
- ・ 高齢でも運転を続ける方が多く、免許返納後の移動に不安がある。
- ・ バス位置情報（QR コード等）を使えば遅延は分かるが、初見には使いにくい。

■ 参加市民が考える課題

- ・ 経路・所要時間

- 目的地へ「遠回り」になりやすい。行きは良いが帰りが大回りになる。
- 往復で同一ルートが少なく、乗り継ぎ判断が難しい。
- 時刻・頻度
 - 出発時刻が便ごとにずれ、時刻表を携帯しないと使いにくい。
 - 便数が少なく、生活のリズムに合わせにくい。
- バス停の場所
 - 自宅から遠い地区がある。主要病院や駅周辺は比較的近いが偏りがある。
- 乗車体験
 - 乗るときに行き先確認が十分でない印象。慣れないうちは乗り間違いが起きやすい。
 - 狭い生活道路の走行で渋滞や安全面の不安がある。
- 利用対象の幅
 - 足腰が弱い高齢者はミニバス停まで歩けず、家にこもりがちになる。

■ 参考事例・示唆（参加者の情報）

- 署名活動により、過去にイエローコースの路線再編の実績あり。
- 近隣市では「乗合デマンドサービス（例：ちよいそこ）」の活用が進んでいる。
- バスロケーションの活用で“早発はしない”“遅延のみ発生”という理解が広がると、無駄待ちが減る。